

ワシン エコ外部用ウレタンクリヤー・艶消

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木工塗料事業部

平成 年 月 日

ワシンエコ外部用ウレタンクリヤー・艶消

(一液型油変性ウレタン塗料)

ワシンエコ外部用ウレタンクリヤー・艶消は木質建造物(木質住宅の外壁・窓枠・デッキ・その他 木製エクステリア製品)の木地透明仕上げ用外装塗料です。一液型で肉持、光沢(クリヤー塗装時)があり、強靱な塗膜を形成して優れた耐候性を持っています。

§ 特 長 §

鉛やホルムアルデヒドなどの有害な物質を使用していません。

一液型で刷毛塗り作業性も良好です。

紫外線吸収剤の効果で耐候性が良く木材を守ります。

肉持ちある塗膜を形成します。

§ 用 途 §

木質建造物(木質住宅の外壁・窓枠・デッキ・その他、木製エクステリア製品)

§ 使用方法 §

1. 本品は一液型ですので、塗料用うすめ液(エコタイプ)で希釈するだけで使用できます。
2. 使用前に良く攪拌して、中身を均一にして下さい。
3. 標準塗装回数は2回です。

< 調合割合目安 >

ワシンエコ外部用ウレタンクリヤー	100	部
塗料用うすめ液(エコタイプ)	0~10	部

< 標準塗布量 >

80~100 g / m² (2回塗り)

塗布量は塗装環境により変わりますので目安として下さい。

(塗布量が少ない場合は3回塗りをおすすめします)

塗布量が少ないと満足する耐候性が得られない事がありますのでご注意下さい。

§ 塗料性状 §

		クリアー	艶消	備考
	塗料外観	透明褐色	半透明褐色	目視
粘 度	粘度規格	55 ± 10 秒	60 ± 10 秒	25 フォード・カップ No4 塗料100に対して 塗料用うすめ液 (エコタイプ)にて 希釈
	0%希釈	65 秒	69 秒	
	5%希釈	40 秒	42 秒	
	10%希釈	28 秒	30 秒	
	20%希釈	19 秒	20 秒	
	30%希釈	15 秒	16 秒	
	不揮発分	54%	54%	計算値
	密 度	0.92	0.93	25 / ヲイトカップ°
	保管安定性	異常なし	異常なし	50 / 30日間

§ 艶消度合 §

黒ガラス板 5ミルアプリケーション (26 / 54%)

光沢度	10	26	56	81	91
口外部用クリアー	0	30	50	70	100
口外部用クリアー 艶消	100	70	50	30	0

条件・塗布量・素材により変わります。

§ 乾燥性 §

ガラス板 5ミルアプリーター (20 / 65%)

	クリヤー	艶消
指 触	60分	30分
指 圧	8時間	3時間

条件・塗布量・素材により乾燥時間は変わります。

§ 標準塗装工程 §

(木地透明仕上げ)

工程	塗 料	塗布量(g / m ²)	乾燥
1. 素地調整	P150 サンドペーパーでの研磨。素地の荒れ、汚れを落とす。		
2. 下塗塗装	ワシエ外部用ウルタンクラー 100 塗料用うすめ液(イタワ) 0~10	80~100	一夜
3. 上塗塗装	ワシエ外部用ウルタンクラー 100 塗料用うすめ液(イタワ) 0~10	80~100	——

(素地着色 + クリヤー仕上げ)

工程	塗 料	塗布量(g / m ²)	乾燥
1. 素地調整	P150 サンドペーパーでの研磨。素地の荒れ、汚れを落とす。		
2. 素地着色	木材保護塗料「ガードラックPro」各色	80~100	一夜
3. 下塗塗装	ワシエ外部用ウルタンクラー 100 塗料用うすめ液(イタワ) 0~10	80~100	一夜
4. 上塗塗装	ワシエ外部用ウルタンクラー 100 塗料用うすめ液(イタワ) 0~10	80~100	——

§ 塗膜性能 §

試験材：カバ材

P150にて研磨後刷毛にて2回塗り

常温にて7日間乾燥

試験項目	クリアー	艶消	備考
黒インキ 赤インキ ソース 醤油 5% 酢酸 5% 炭酸ソーダ 10% 食塩水 中性洗剤 60% イタノール 水 ラッカーシンナー キシレン ミネラルスピリット	×	×	24時間スポット
黒マジック 赤マジック 黒クレヨン 赤クレヨン			24時間後 ベンジン拭き取り
耐湿熱性			300cc以上-カ沸騰水 30分
密着性	クロスカット		40℃-70℃ 密着試験
ヒールマーク性			黒ゴムによる引っ掻き
鉛筆硬度	B	B	ガラス板 5ミル 2週間
耐候性	黄変	黄変	セノワ-0-M試験 500時間 杉材 2回塗り

評価： 良

× ×

悪

§ 使用上の注意 §

- 1 . 塗料の付着した布切れ , 塗料カス , 塗膜の研磨粉などを積み重ねて放置しておきますと、自然発火することがありますので、その都度焼却するか廃棄するまで水につけておいて下さい。
- 2 . 希釈は塗料用うすめ液 (エコタイプ) をお使い下さい。
- 3 . 塗装する前には素地研磨をして素地の荒れ、汚れ等を除いて下さい。
- 4 . 塗料の性質上透明でありながら、若干褐色の塗膜を形成します。又、経時的に黄変する事があります。
- 5 . 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- 6 . 塗装中、乾燥中とも換気を十分行い、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 7 . 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。
- 8 . 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。
- 9 . 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- 10 . 作業衣等に付着した場合は、その汚れをよく落として下さい。
- 11 . 皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。
- 12 . 目に入った場合には、多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- 13 . 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 14 . 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 15 . 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- 16 . よくフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。長時間放置すると皮張ります。また、1度栓を開けた塗料は長時間の保管で塗料の色が更に濃くなる可能性があります。
- 17 . 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 18 . 中身を使いきってから廃棄して下さい。
- 19 . 本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート (SDS) をご参照下さい。